

# インフラDXを極めるために ～(一社)南信防災情報協議会 視察研修に同行～

令和4年7月28日(木)  
13:00～16:00  
中部インフラDXセンター  
(中部技術事務所構内)

図面だけではわかりにくい完成後のイメージが共有できるね

DXインフラ(通信環境)も重要だ



VRゴーグルによる構造物の確認



ウェアラブルカメラで遠隔臨場



AR技術で地下空間を確認

南信防災情報協議会30名、伊那谷3事務所5名が参加し、中部インフラDXセンターで最新のデジタル技術によるインフラDXの研修を実施。

視察研修の最後に私たちとの意見交換も活発に行われ、デジタル技術による仕事の変革期を迎え、様々な課題を乗り越える必要性を共有した有意義な1日となりました。

【研修内容】VR(仮想現実):VRゴーグルで道路・ダム完成物を仮想体験、AR(拡張現実):ハンディGNSS受信機とスマホを使い野外で仮想埋設物の可視化イメージ体験、遠隔臨場:ウェアラブルカメラでの遠隔臨場の体験、無人化重機(遠隔操作操縦装置):ほとんどのバックホウで遠隔・無人化施工が可能となる遠隔操作ロボットの説明。3D CAD:点群の扱いから線形計画・土量計算など操作デモ講習、中部地整におけるi-con/DXの取組みの講習 など